令和６年度　情報専門家活用プログラムを実施しました

　このプログラムは本県の高校教育課が実施しているプログラムで、将来本県を支える IT 人材を育成するため、情報Ⅰの授業において、大学等の学生や社会人を活用した実践的な指導を実施することを目的にしています。

　今回、本校では１１月５日～１４日に筑波大学大学院の箕輪様を招き、２学年を対象に各クラス２回ずつ授業を実施していただきました。

　データベースの分野に関する授業で、初回はデータベースの知識を深めるためスライドを用いた説明を細かい部分までしていただきました。また、政府統計の総合窓口（e-Stat）を使い、近隣の市町村の人口を調べたり、条件に合うものを抽出したりする方法を学びました。
　２回目は、Excel を用いて自分で簡易的なデータベースを作り、フィルター機能を使用して項目を抽出したり、数式を入力したりしてデータベースについて学ぶことができました。